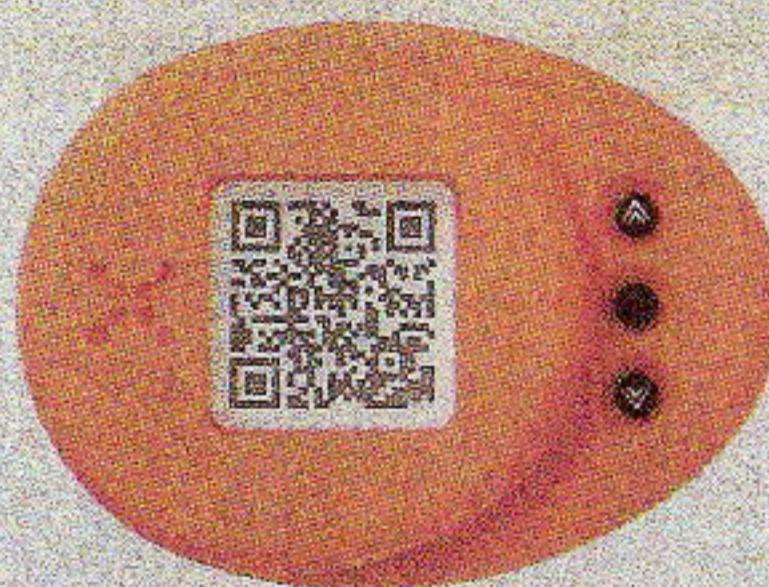


寝ている間に基礎体温

下着に挟むだけ 手軽に健康管理



ショーツに挟むだけで、寝ている間に基礎体温を測れる世界初の温度計が開発され、5月に発売される。従来の基礎体温計は毎朝、決まった時間に口の中に入れて測らなくてはならず、「面倒くさい」と挫折する人が多かった。基礎体温は体調を知る上でも重要なデータで、働く女性など生活が不規則になりがちな女性には重宝されそうだ。温度計は5センチ×7センチほどの卵

形(写真、キューオーエル提供)で、ショーツのウエスト部分にクリップで挟む。皮膚に接触する部分とパジャマ側の2カ所にセンサーがあり、就寝中に10分間隔で測定。その間の最高温度を基礎体温とする。排卵前の低温期、排卵後の高温期という周期がわかる。データは温度計のQRコードから携帯電話で読み取り、蓄積できる。

長野県上田市の健康情報会社「キュートオーエル」(宮島正子社長)が早稲田大学の戸川達男教授(生体工学)らと産学協同で開発。価格は1万2800円。日本産科婦人科学会などが3日に東京で開く「女性の健康週間」のイベントで披露する。(岡崎明子)